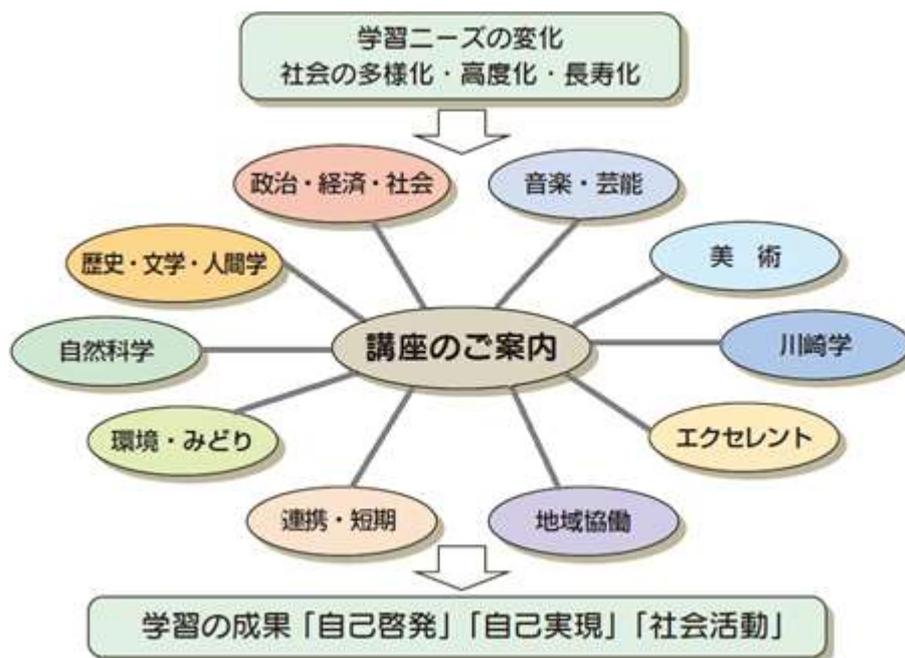


かわさき市民アカデミー 2024年度 受講生のてびき



学ぶ喜び 深まる生き方 広がる友の輪

- ❖すぐれた講師陣による時代の先を見据えた充実した講座を提供しています。
- ❖知的好奇心を満たす「学びの場」・自己実現を目指す「自分さがしの場」・気の合う友を探す「仲間づくりの場」を提供しています。
- ❖地域社会との結びつきを大切にした「地域協働講座」を設けています。
- ❖受講生の親睦・交流を大切にしています。
- ❖学習成果としての社会参加を応援しています。

認定 NPO 法人かわさき市民アカデミー

〒211-0064 川崎市中原区今井南町 2 8 - 4 1 川崎市生涯学習プラザ 3 階
TEL 044-733-5590 FAX 044-722-5761 E-mail info@npoacademy.jp
ホームページ <http://npoacademy.jp/>

も く じ

1. かわさき市民アカデミーとは	3
2. 学習の進め方	3
(1) 学習目標	3
(2) 講座の種類	3
(3) オンライン併用講座について	4
(4) 学期	5
(5) 受講生の会員区分とそれぞれの特徴	5
(6) 学群について	6
(7) 単位認定制度と修了について	7
(8) 抽選について	7
(9) 会場	8
3. 毎回の学習について	8
(1) 感染症予防対策について	8
(2) 会場の受付	8
(3) 講座・ワークショップの運営について	9
(4) 講座中 SNS	10
4. 行事と受講生（修了生）の活動、その他の活動	10
(1) 開講式（4月）	10
(2) フェスタ（学園祭）（11月）	10
(3) 受講生のつどい（3月）	10
(4) 受講生（修了生）の活動	11
(5) ブックレット・双書	11
5. その他受講にあたって	11
(1) 自然災害における休講措置基準	11
(2) その他	12
6. 受講申込み等について	12
(1) 受講生募集の時期と講座のご案内（募集内容詳細）の主な配布場所	12
(2) 申込み方法	12
(3) 申込み締切	12
(4) 受講申込みに関するご注意	12
(5) 申込みから受講決定まで（2024年度前期の場合）	13
7. 運営組織について	14
(1) 認定特定非営利活動法人（認定NPO法人）かわさき市民アカデミーとは	14
(2) 川崎市生涯学習財団とは	15
8. 事務局	15



講座風景（人間学講座）



みどり学Ⅱ講座の野外学習

1. かわさき市民アカデミーとは

かわさき市民アカデミー（以下「アカデミー」という）は、1993年10月に開学し、市民が生涯にわたる学習と社会参加を通して積極的に生きることを支援し、活力ある地域社会の創造をめざす市民のために高い専門性を備えた継続的な学習の場を提供しています。受講生が、お互いに学びあい、高めあうことを大切にしています。武蔵小杉の生涯学習プラザを中心に、年間約100講座を開催し、年間受講登録者数延5,700名（2023年度）が学んでいます。

運営は、市民・受講生が中心となってアカデミーの“市民による運営”を目指し、NPO法人かわさき市民アカデミー（2007年設立、2015年に認定NPO法人の認可を受ける。以下「NPO」という。）が行っています。具体的には、講座運営の中心となる受講生有志による運営世話人の他、受講生のご協力による当番、NPO理事・事務局職員、コーディネーター・講師、（公財）川崎市生涯学習財団（以下「財団」という。）職員、野外学習サポーターがそれぞれの役割を担いながら、皆で協力して運営を行っています。

講座やワークショップの全体的な企画・調整は、学者・研究者などで構成されている「カリキュラム企画・編成委員会」（委員長は、馬場康雄学長）が中心となって実施しております。

2. 学習の進め方

アカデミーでは、様々な講座やワークショップ（WS）を展開しており、系統的・継続的な学習を推奨しています。また、学習の成果の目安として単位制と修了制度（任意）を実施しています。

（1）学習目標

自らの課題意識に基づく
学習・研究によって、
現代社会への理解を深め、
市民としての自立を
めざします。

学習成果を
地域社会に還元していく
道すじを学びます。

学園生活をとおして、
より豊かな人間関係を築き、
人生の新たな価値を
見出します。

（2）講座の種類

①講座（授業時間は主に90分）

講義形式の講座です。講師からテーマごとに講義を聞きます。

②ワークショップ（WS）（授業時間は主に120分）

受講生自らが参加し、受講生がお互いに協力しながら学びます。ワークショップによっては、受講生が共同で作業を行ったり、テーマについてテキストを読んでレポートを発表したり、討議に参加して意見を出し合い自主的に学びます。講師はアドバイザーとして、学問的見地から適宜見解を示します。

③短期集中講座（授業時間は90分）

1テーマ3回を原則として、集中的に学びます。

④連携講座（授業時間は90分）

連携（昭和音大）講座は、昭和音楽大学との連携によって開講する講座です。新百合ヶ丘の同大学南校舎のユリホールを会場として、オペラをテーマに研究者・音楽家が登壇します。

連携（アジア航測）講座は、アジア航測株式会社との連携によって開講する講座です。アジア航測は、航空機や衛星を活用した撮影・計測による空間情報をベースとした防災、環境、社会基盤のコンサルティングを行う会社です。2024年度は後期に開講する予定です。

⑤地域協働講座（授業時間は主に90分）

2011年度から（公財）川崎市生涯学習財団のシニア活動支援事業の一環として行っている講座です。社会参加と学習成果の地域への還元（域課題の解決）を狙いとして実施されます。財団とNPOの協働で地域協働講座企画委員会をつくり、講座の企画やカリキュラム作成及び運営等について進めていきます。福祉やまちづくり、教育、生活、健康、企業連携、大学連携など地域との密着性が高い講座を開講しています。

⑥特別講座（授業時間は主に90分）

不定期に実施する講座です。ホームページなどで適宜ご案内します。

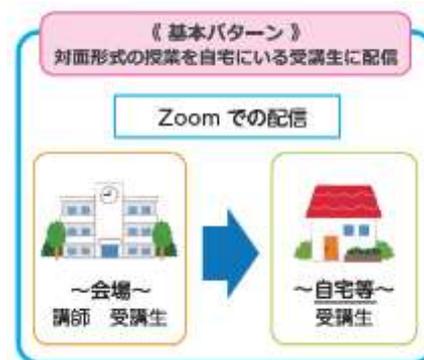
- * 野外学習…自然観察、まち歩き、施設見学など会場以外で学習を行う講座、ワークショップもあります。
- * オンライン併用講座…ご自宅等でオンライン受講できる講座・ワークショップもあります。

（3）オンライン併用講座について

①現在、アカデミーで実施しているオンライン併用講座

オンライン併用講座は、会場での対面形式の講座をビデオ会議システム Zoom を使用して同時配信し、ご自宅などで会場以外でも受講できる形式の講座です。

「遠隔講義」とは、講師の都合により、講師が会場以外で講義を行い、受講生が会場のスクリーンまたは自宅等で受講することです。



②オンライン併用講座受講までの流れ

ホームページ（「オンライン併用講座について」）に詳細な説明がありますのでご利用下さい。

- ・**受講申込み**：お申込みの際に、「会場受講」「オンライン受講」の選択肢がありますので、どちらかをお選びください。
- ・**受講確定通知**：オンライン受講が可能か、受講確定通知でお知らせいたします。受講に際しての注意事項、資料送付、出席確認、質問の仕方などについては、ホームページに説明がありますのでご確認ください。
※オンライン受講者が著しく少数の場合は、実施しない場合があります。
- ・**講座当日まで**：講座受講のための Zoom 接続情報、資料は、原則講座前日午後までにメールでお送りします。
- ・**開講期間中**：開講期間中に受講形式（会場受講⇔オンライン受講）の変更はできません。受講についての諸注意は、ホームページの「オンライン併用講座について」を必ずご一読ください。

(4) 学期

前期（4月～9月）・後期（10月～翌年3月）の2学期制です。

(5) 受講生の会員区分とそれぞれの特徴

アカデミーでは、継続的な学習を目指すため、会員制度を設けています。

所属の種別	2年会員	1年会員	聴講生
会員期間	2年間	1年間	期間なし
募集時期	毎年・前期のみ	毎年・前期のみ	毎学期（前期・後期）
学習の継続性	継続的な学習を目指す		半期ごとに 受講の継続を検討する
入会金（※1）	20,080円（2年分）	11,710円（1年分）	—
アカデミー講座 受講料（※2,3）	12回講座は13,380円～ 6回講座は6,690円～	12回講座は15,060円～ 6回講座は7,530円～	12回講座は20,080円～ 6回講座は10,040円～
アカデミーWS 受講料（※2,3）	12回WSは18,530円～ 10回WSは15,440円～ 9回WS13,900円～ 7回WSは10,810円～ 6回WSは9,270円～		20,080円～ 16,730円～ 16,200円～ 11,710円～ 10,040円～
短期集中講座 受講料（※2,3）	3,350円	3,770円	5,020円
連携講座 受講料（※2）	7,840円	8,680円	11,190円
地域協働講座 受講料（※2,3）	10回講座：9,460円 5回講座：4,730円～5,610円 3回講座：3,190円 （各講座資料代等は、実費徴収）		
学群の選択	入会時に受講者が選択		学群選択なし
単位制と修了	30単位取得で修了（取得期限は10年、修了後も同条件で都度修了が可能）		
	選択学群で10単位以上取得		1つの学群で 10単位以上取得
修了式 （受講生のついで）	修了証・記念品の授与・受講生同士の交流を深める		

※継続的な学習を希望する方、講座数を多く受講する方は会員制度をご活用ください。会員の申込みは前期のみとなっています。後期から新規に申込みされる場合は、聴講生のみとなります。

※応募多数で抽選になった場合、その講座・WSの学群を選択している2年、1年会員は聴講生よりも優先的に受講できます。初めて受講いただく方には会員区分にかかわらず一定率の優先枠を用意しています。

※金額は税込みです。

※1：入会金は、入会時(会員期間開始時)に一括してお支払いいただきます。会員期間終了後も会員として受講される場合、新たに入会金をお支払いいただきます。

※2：受講料は、学期ごとに講座・WSの申込みを行い、受講確定した講座・WSの受講料をお支払いいただきます。

※3：講座によっては受講料の他に、交通費、教材費、資料代など別途負担していただく費用があります。各講座の日程表をご確認ください。

※入会時の会員区分の発生と会員資格の失効に関して

1. 会員区分の仮発生（入会および講座・WS 申込み時）

2 年会員・1 年会員・聴講生の会員区分については、入会および講座・WS のお申込みをいただいた時点でその区分（資格）が仮発生します。申込定員を超える講座・WS は、その会員区分（資格）により抽選を行います。

抽選後、当選された方は 会員期間中の区分の変更はできません。
2. 会員区分の確定

会員区分は、受講確定通知後、入会金と受講料の振り込みをされた時点で確定します。
3. 会員区分の変更

2 年会員・1 年会員の会員区分でお申込み後、抽選となった講座・WS で落選された方、または特別な事情がある場合に限り、会員区分の変更を受け付けます。開講日前日正午までに事務局へご連絡ください。
4. 入会時の会員資格の失効

開講日前日正午までに、全ての講座・WS の受講をキャンセルされた場合、会員資格は失効します。事務手数料 1,000 円を差し引いて入会金と受講料を返金します。（ただし入会金については、2 年会員は 1 年目の前期、1 年会員は前期に、新規に会員となった方のみ返金します。）

（6）学群について

アカデミーでは、系統的・継続的な学習の目安として、互いに関連の深い領域を緩やかにまとめています。2 年会員、1 年会員として受講する際に、いずれかの学群を選択していただきます。アカデミーにおけるご自分のホームグラウンドのようなものとお考えください。選択の目安としては、主として受講したい講座・ワークショップが多い学群を選ぶことをおすすめします。（※会員期間中の学群変更はできません。）

（2024年度前期現在）

学群	学群に属する講座・WS名
政治・経済・社会	政治・社会（講座・WS）、国際関係（講座・WS）、経済（講座・WS）、現代事情（講座）
歴史・文学・人間学	日本史（講座・WS）、世界史（講座）、文学（講座・WS）、人間学（講座・WS）、交流館協力（講座）
自然科学	新しい科学の世界（講座）、いのちの科学（講座）、活躍する科学・技術（講座）
環境・みどり	環境とみどり（講座・WS）、みどり学Ⅰ（講座）、みどり学Ⅱ（講座）、みどり学<フレッシュ>（講座）、山の自然学（講座）
音楽・芸能	音楽Ⅰ（講座）、音楽Ⅱ（講座）、音楽Ⅲ（講座）、日本の伝統芸能（講座）、音楽・芸能（WS）
美術	美術Ⅰ（講座）、美術Ⅱ（講座）、美術Ⅰ・Ⅱ（WS）、芸術（WS）
川崎学	自然Ⅰ（講座）、自然Ⅱ（講座）、歴史（講座）、学び・歩くかわさき（講座）、まち歩き（WS）

エクセレント講座とは、分野横断的講座で、学群の分類対象にはなっていませんが、学群と同様に「エクセレント」を選択することができます。

エクセレント	エクセレントⅠ（講座）、エクセレントⅡ（講座）、エクセレントⅢ（講座）
--------	-------------------------------------

（7）単位認定制度と修了について

学習の成果の目安として単位制を実施しています。積極的にご活用ください。
ただし、任意の制度で強制力はありません。あくまでもご自身の努力目標として位置づけています。

講座区分	単位取得の基準	取得単位
9回～12回の講座	3分の2以上の出席	2単位
5回～8回の講座		1単位
9回以上のワークショップ ^o		3単位
5回～8回のワークショップ ^o		2単位

- ①単位の取得には受講講座・ワークショップの3分の2以上の出席が必要です。
 - ②2016年度以降の30単位取得で修了認定されます。
1月末までに取得した単位は当該年度までの修了単位に加算し、それ以降に年度内で取得した単位は次年度の修了単位に加算されます。2年・1年会員は、選択した学群の講座より10単位、聴講生は1つの学群の講座より10単位の取得が条件です。認定できる期限は10年間です。
 - ③短期集中講座、特別講座は、単位認定の対象にはなりません。
 - ④事務局で単位取得状況を確認し、学長が単位取得の確認と修了の認定を行います。
 - ⑤修了者には、「受講生のつどい」へのご案内を事務局から送付します。「受講生のつどい」にご出席の方には、修了式にて修了証と記念品をお渡しいたします。当日ご欠席の方には、後日、修了証を郵送させていただきます。
- ※修了後に、新たな修了を目指す場合は、前回の修了認定以前の単位をその回の修了認定の単位としてカウントすることはできません。

（8）抽選について

応募者多数の場合は抽選となります。抽選になった場合の優先順位は、次の通りです。

- ・前期講座での優先順位は、①抽選該当講座の運営世話人、②アカデミー新規受講生（今までアカデミーの講座を1回も受講していない人、2科目まで、但し講座定員の5%以内）、③抽選該当講座の属する学群を選択した2年会員・1年会員、④③以外の学群を選択した2年会員・1年会員・聴講生となります。
- ・後期講座での優先順位は、前期講座での優先順位の①と②の間に「前期受講生」が追加されます。

※アカデミー新規受講生の定義は、2010年以後にアカデミーの講座の受講歴のない方とさせていただきます。また、アカデミー新規受講生は、会員・聴講生間での優先順位は設けません。

※ワークショップも同様の優先順位で抽選を行います。

(9) 会場

講座・ワークショップの会場は次の通りです。事務局は生涯学習プラザ3階です。

- ・川崎市生涯学習プラザ（武蔵小杉）
- ・高津市民館（武蔵溝ノ口・溝の口）
- ・ミュージア川崎市民交流室（川崎）
- ・大山街道ふるさと館（武蔵溝ノ口・溝の口）
- ・東海かわさき宿交流館（川崎）
- ・昭和音楽大学南校舎（新百合ヶ丘）
- ・新百合21ビル地下2階（多目的ホール、会議室）（新百合ヶ丘）

3. 毎回の学習について

(1) 感染症予防対策についてのお願い

感染症予防対策については、今後も状況を見ながら臨機応変に対応してまいります。今後の状況の変化によって予告なく変更になる場合があります。ご理解、ご協力のほど、よろしくお願いいたします。

現在、マスク着用は個人の判断が基本となりますが、かわさき市民アカデミーでは、シニアの方が多く受講されておりますので、厚生労働省より示されている「周囲の方に感染を広げないために」「ご自身を感染から守るために」（2023/3/13）を参考に、感染症予防対策として引き続き、マスクの着用を推奨してまいります。

あわせて、下記につきましてもご理解とご協力をお願いいたします。

- 体調の悪い時の受講はお控えください。
- マスクなしの際の会話もお控えください。
- アルコール消毒にご協力ください。



https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kansentaisaku_00001.html

※講座に関わる世話人、役員、職員の対応について

引き続き、以下のことに配慮し、受講生の皆さんが安心して講座を受講できるよう努めてまいります。

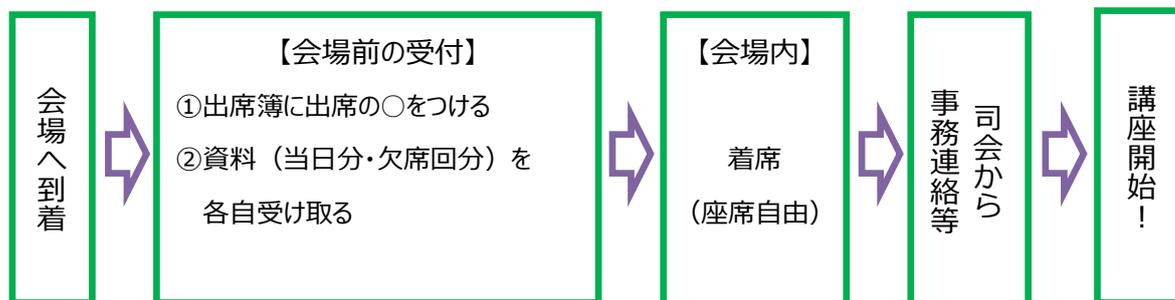
- 業務時のマスク着用
- 日常における検温、アルコール消毒、体調管理の継続実施
- 講座開催教室の換気の実施
- 飛沫防止のため、講師との身体的距離を確保

(2) 会場の受付で

- ①出席時には、必ず出席表に○印を付けてください。（従来ご使用いただいております学習記録表は、個人の出欠確認のために引き続きご使用いただけます。但し、残部がなくなりましたら配布を終了させていただきますのでご了解ください。）

- ②資料（当日分・欠席回分）は各自お取りください。
（会場受講の方で、欠席回分の資料の郵送を希望される場合は、送料等を都度ご負担いただきます。）
- ③講座・ワークショップによっては、講座開始 5 分前位に事務連絡等のアナウンスがあります。

<会場到着から講座開始までの流れ>



（3）講座・ワークショップの運営について

市民による市民のための学習活動を目標にかかげております。従って、受講生の皆様には講座・ワークショップ運営のご協力をいただいております。

①当番

講座により、授業開始前の準備や終了後の片付けなど講座運営のお手伝いを学期に 1 回程度の当番制によりお願いしております。

②運営世話人制度

講座・ワークショップのスムーズな運営・進行を行うため、運営世話人を講座・ワークショップごとに受講生の中から毎学期募集・登録しております。NPO事務局や担当理事と共に開講前の準備、講座開催中の資料の準備、事務連絡、機材操作、消毒・換気、オンライン対応等を行っていただいております。世話人として講座の企画や運営を行ったり、講師との懇親会に参加する楽しみもあります。興味のある方は各講座の運営世話人に声をかけてみてください。

また、野外学習講座は、講座中の事故やけがなどの可能性があり、安全面のサポートが欠かせません。そこで、「野外学習に関する安全管理規程」に則り、様々な安全対策を講じています。運営世話人は、担当理事やサポーターと連携し安全確保のための体制を整える役割を担います(詳しくは「野外学習における安全管理実施ガイドライン」)。



(4) 講座中 SNS

- ① 講師・受講生の肖像権・著作権保護のため学習中の写真撮影や機材での録音等・録画は禁止です。(講師・受講生の許可なく講座内容・風景等をブログ・SNS等に掲載することも禁止です。)
- ② 配付した資料等の無断転用・転載は、禁止します。
- ③ 学習内容に関する質問等は、講座によって、講座中に行う方法と、所定の質問票をご利用いただく方法があります。講座終了後の講師への個人的な質問・お願い等をご遠慮ください。講座へのご意見・ご要望等は、NPO 担当理事又は NPO 事務局にお申し出ください。
- ④ 講座中、携帯電話の電源はお切りになるか、マナーモードにするようお願いいたします。通話は、ご遠慮ください。
- ⑤ 講座中の事故等は自己責任が原則です。通学中・受講中の万一に備え、傷害・賠償責任保険への加入も受付けています。加入は任意ですが、ご自身で加入している保険が適用にならない方、未加入でご希望の場合は事務局にて「傷害・賠償責任保険の加入について」を配布しておりますので、そちらをご覧ください。
- ⑥ 特に野外学習の際には、各自の体調管理や持ち物、服装、当日の安全確保にはご自身の責任で十分に注意しながら参加くださいますようお願い申し上げます。また、ご自身で加入されている傷害・賠償責任保険が野外学習中の傷病や事故等へ適用されるかどうかについても確認をお願い申し上げます。
- ⑦ 開講後の受講形式（会場受講 ↔ オンライン受講）への変更はできません。

4. 行事と受講生（修了生）の活動、その他の活動

(1) 開講式（4月）

式典および記念講演会を開催します。



(2) フェスタ（学園祭）（11月）

川崎市民およびその周辺地域の皆さまに、生涯学習の場としてのかわさき市民アカデミーをよりご理解いただくため、また受講生が学習の成果を発表する場としてフェスタ（学園祭）を開催しております。財団と NPO 及び受講生の企画・運営により、シンポジウム・講演・研究発表・展示等の多彩な活動が行われます。



(3) 受講生のつどい（3月）

必要な単位を取得した受講生の修了の喜びをともに分かち合います。また、受講生・講師・運営世話人等関係者が1年間の謝恩を兼ねて親睦をはかります。



(4) 受講生（修了生）の活動

①「かわさき市民フロンティア」

アカデミーの修了生を中心に、1996年3月に結成されました。アカデミーで学んだ成果などを地域社会に還元することをめざし、様々な活動を行うことを目的としています。

具体的な活動内容は、福祉活動、美術講座、文化財を訪ねる会、語りと朗読の会などを実施しています。また、アカデミーの一部の講座について運営支援を行っています。

②アカデミー修了生・受講生による市民活動グループ

地域福祉活動、文化活動、環境・自然保護、国際交流など、幅広い分野にわたって活躍しています。

(5) ブックレット・双書

ブックレットは、かわさき市民アカデミーで行われた講座の記録を基にして、講義をされた講師の先生が加筆・修正を行って読みやすい冊子にしたものです。人文学・社会科学・自然科学すべての分野を対象としています。

双書は、かわさき市民アカデミーの講座にかかわる講師や受講生が特定の研究テーマに基づいて執筆した書籍です。講座での学習を発展させた内容となっています。

2016年11月からは、川崎学講座に関わる講師が講座内容をもとに執筆した川崎学双書シリーズの刊行も行っています。郷土川崎を知り、地域学として学ぶ絶好の書です。

それぞれの出版物は、NPO事務局または北野書店（店舗本店TEL044-511-5491 FAX044-511-2340）で購入できます。

5. その他受講にあたって

(1) 自然災害における休講措置基準

	自然災害	措置基準
1	暴風等	講座・WS 開始 2 時間 30 分前に、川崎市に暴風警報もしくは特別警報が発表されている場合は 休講 。
2	大雪	講座・WS 開始 2 時間 30 分前に、川崎市に大雪警報が発表されている場合は 休講 。
3	地震	川崎市内で震度 5 強以上の地震を観測した場合は 休講 。

原則として補講を後日実施します。

備考

- 大雨・洪水警報は対象外とします。
- 自然災害により、午前 8 時の時点で首都圏の公共交通機関の運休が分かった場合は休講にします。
- 自然災害の措置基準による休講の場合の対応
 - ・休講の連絡をいたしませんのでご注意ください。
 - ・警報等の発表並交通機関の運行状況の確認は、テレビ及びラジオ等の報道で行ってください。
- 自然災害以外で休講の場合の対応

・学長、理事長、財団との連絡調整を踏まえて事前に事務局より休講の連絡をいたします

- 補講が講師の都合等で実施できない場合は、何らかの形で補填します。

(2) その他

- ① 駐車場や飲食に関しては、各施設のルールに従ってください。
- ② 講師や受講生の住所・電話番号等は、お知らせすることはできません。
* 個人情報について、講座・ワークショップは「特定非営利活動法人かわさき市民アカデミー個人情報保護方針」に基づき適正に扱います。
- ③ 事務局と担当理事が講座・WSの受講風景・イベント等の様子を撮影いたします。撮影物（写真・動画等）は、活動報告としてホームページ・各種印刷物等に使用させていただくことがあります。予めその旨ご承諾いただきますようお願いいたします。
当該使用・掲載に問題がある場合は、アカデミー事務局員までお申し出ください。

6. 受講申込み等について

(1) 受講生募集の時期と講座のご案内（募集内容詳細）の主な配布場所

年2回、1～2月と7～8月に受講生の募集を実施しております。募集内容は、市内の市民館、図書館のチラシ展示コーナーでの募集案内配布、受講生募集説明会、ホームページ等を通じてお知らせしております。



(2) 申込み方法

受講申込書に必要事項を記入し、FAX又は郵送でお申込みください。ホームページからも申込みができます。（電話での申込みは受付しておりません。）

(3) 申込み締切

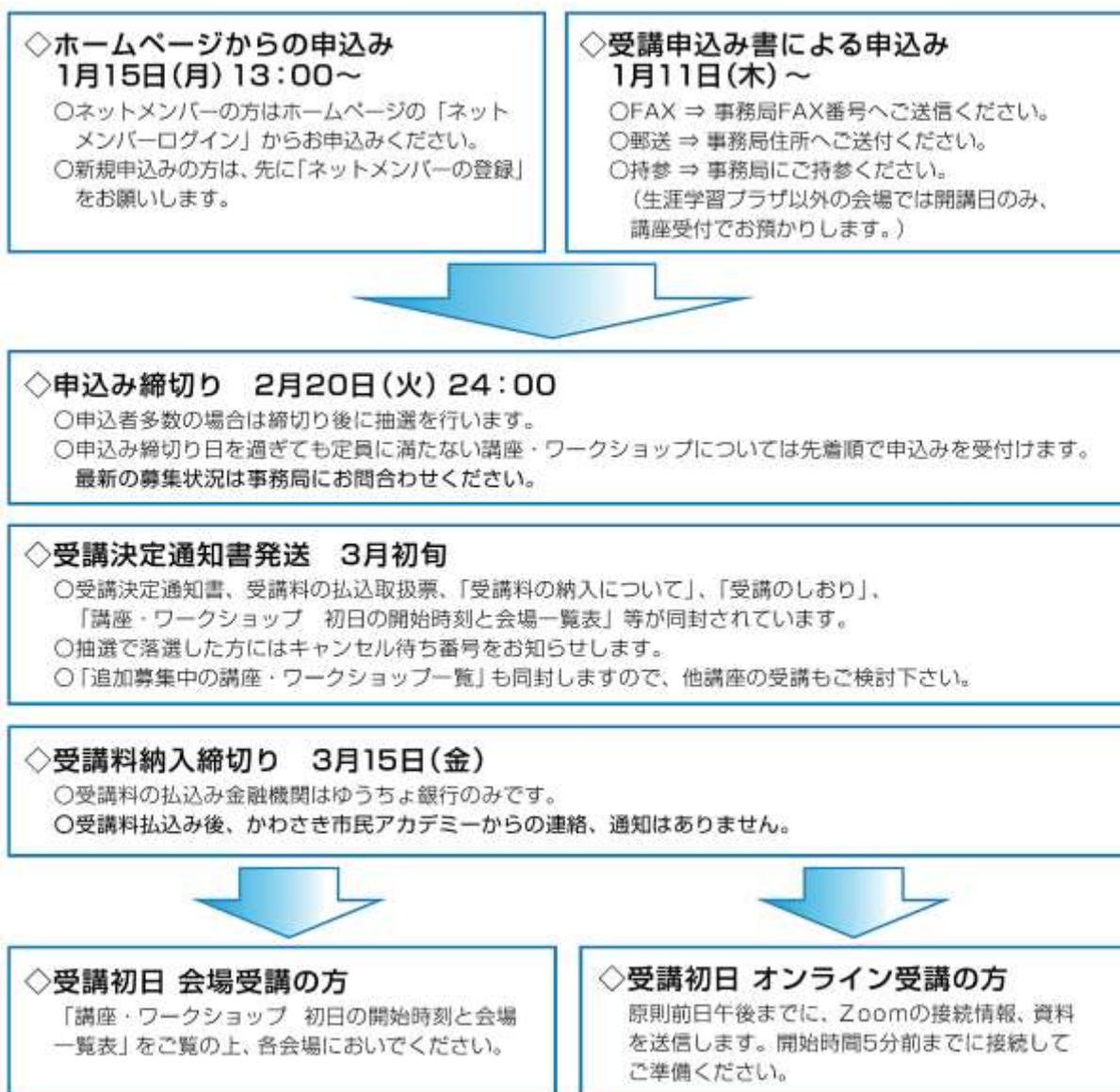
前期講座は2月中旬、後期講座は8月中旬に申込み締切となります。詳しい日程は募集案内をご覧ください。

(4) 受講申込みに関するご注意

- ・先着順ではありません。応募者が定員を超過した場合は抽選になります。
- ・申込み締め切り日を過ぎても、定員に満たない講座・ワークショップについては引き続き先着順で募集します。最新の申込み状況を事務局へお問合わせください。
- ・日程、学習内容、講師、会場は変更することがあります。また、講師がオンラインでの登壇になる可能性もあります。
- ・応募受講生が少ない場合は、講座・ワークショップは中止になることがあります。
オンライン受講の申込みの少ない講座・ワークショップは、会場のみでの受講となる場合があります。
- ・個人情報の取り扱い：当法人では、収集した個人情報を講座運営に係る連絡やパンフレットその他の案内の送付等のために使用させていただく場合があります。その際、特定非営利活動法人かわさき市民アカデミー個人情報保護方針に基づき、個人情報の漏洩、流出、不正利用がないよ

う、必要かつ適切な管理を行います。

(5) 申込みから受講決定まで (2024年度前期の場合)



記念品



記念品

新規受講生紹介キャンペーンもご活用ください!

現在のアカデミー受講生が、新たにご友人やご家族などアカデミーの受講を希望されている方をご紹介いただき、その方が2024年度前期講座をお申込みいただいた場合に、受講料納入の確認後、各講座が開講してからご紹介者と紹介された新規受講生それぞれに記念品をさしあげます。なお、短期集中講座、連携講座、地域協働講座、特別講座は対象になりません。申込み用紙はホームページからもダウンロードできます。詳しくは、事務局にお問い合わせください。

7. 運営組織について

(1) 認定特定非営利活動法人（認定NPO法人）かわさき市民アカデミーとは

かわさき市民アカデミーの運営組織



2007年に市民・受講生が中心となってかわさき市民アカデミーの“市民による運営”を目指し「NPO法人かわさき市民アカデミー」が創設されました。2015年12月には認定NPO法人の認定を受けました。

アカデミーの講座・ワークショップは市民・受講生自らの手による運営を目指しており、受講生の皆様にも講座・ワークショップの運営に運営世話人や受付当番としてご協力いただきながら、NPO理事・参与、コーディネーター・講師、財団職員、野外学習サポーター、事務局職員、がそれぞれの役割を担いながら、皆で協力して運営を行っています。



かわさき市民アカデミー学長
東京大学名誉教授
馬場 康雄



認定NPO法人かわさき市民アカデミー理事長
東京大学名誉教授
太田 猛彦



認定NPO法人かわさき市民アカデミー副理事長
東京大学特別名誉教授 東京理科大学名誉教授
藤嶋 昭

～副学長・カリキュラム企画・編成委員（2024年1月現在）～



副学長
樹木 医
石井 誠治
(みどり学)



副学長
東京大学名誉教授
木村 学
(新しい科学の世界)
(活躍する科学・技術)



副学長
元日本大学教授
関 幸彦
(日本史)
協力:(エキゼント)(交流館協力)



副学長
成城大学名誉教授
田中 宣一
(川崎学)
(交流館協力)



桐朋学園大学特任教授
梅津 時比古
(音楽)



東京大学教授
蔵治 光一郎
(環境とみどり)



東京大学名誉教授
小松 久男
(世界史、協力:(エキゼント))



東京大学名誉教授
小森 陽一
(文学)



日本科学技術ジャーナリスト
会議理事 佐藤 年緒
(いのちの科学)



信州大学名誉教授
都築 勉
(政治・社会)



多摩美術大学名誉教授
諸川 春樹
(美術)



法政大学名誉教授
柳沼 壽
(経済)

(2) 川崎市生涯学習財団とは

公益財団法人川崎市生涯学習財団（以下「財団」という）は、市民の学びと活動を支援するための講座等の開催、学習情報の収集および提供、学習の成果を社会還元・地域貢献できるシステムづくり等を行っております。アカデミーは当初財団によって運営されてきました。2011年度からはNPOが全面的にアカデミー運営を実施しておりますが、財団は引き続き協働という形で支援していきます。

8. 事務局

お問い合わせ、ご連絡、受講申込みは下記までお願いいたします。

認定 NPO 法人かわさき市民アカデミー事務局

〒211-0064 川崎市中原区今井南町 28-41 川崎市生涯学習プラザ3階

TEL 044-733-5590 FAX 044-722-5761 E-mail info@npoacademy.jp

ホームページ <http://npoacademy.jp/>

お問い合わせは、平日9時～16時

かわさき市民アカデミーに寄附された場合の「税制優遇」について

かわさき市民アカデミーは2015年12月に川崎市から「認定NPO法人」に認定されました。これによりご寄附いただいた場合は、認定NPO法人への寄附として寄附金控除が受けられます。

当法人発行の「寄附金領収書」を添付して確定申告を行って下さい。控除下限額は2,000円です。詳しくは、事務局にお尋ね下さいませようお願いします。